

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年05月22日

計画の名称	リサイクル社会・地球温暖化防止に貢献する流域下水道の整備（重点計画）												
計画の期間	平成28年度～平成30年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	福岡県												
計画の目標	下水汚泥の資源・エネルギー利用を推進し、地球温暖化防止に貢献する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,969	A	3,969	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	御笠川那珂川流域下水道において、エネルギー利用を目的とした汚泥処理施設等の整備を行う。 汚泥処理施設等の整備率 エネルギー利用を目的とした汚泥処理施設等の整備済処理区数	0処理区	処理区	1処理区

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		H28	H29	H30	H31	R02													
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	福岡県	直接	福岡県	終末処 理場	改築	御笠川浄化センター（資 源循環）	エネルギー利用を目的とした 汚泥処理施設等	福岡市	■	■	■			3,969		—
											小計						3,969		
											合計						3,969		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

福岡県建築都市部下水道課において実施。

事後評価の実施時期

事業実施完了の翌年度。

公表の方法

福岡県のホームページで公表。

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

御笠川浄化センターから発生した下水汚泥を固形燃料化した。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

引き続き適切な維持管理を行っていくとともに、下水汚泥の有効利用を推進する。

